

第12回 稲城市住所整理地区市民検討会（矢野口・東長沼・百村京王線以南地区）

実施日：令和6年6月14日（金） 午後7時00分～午後8時45分

会場：地域振興プラザ 2階 商工会会議室

参加数：地区市民検討委員12名（欠席7名）

事務局3名（谷口課長、平林係長、小出主事）

次第1 新しい町の名称案の検討

委：公募の結果から「南山」という意見が多数を占めているが、さらにアンケートを取る必要があるのか。

市：あくまで公募は、名称案を募るために実施したものであり、意向を確認するという意味合いで、アンケートは実施する必要がある。

委：名称案について身近なコミュニティで話した際、見晴台・南ヶ丘・たぬき山など、様々な意見があり、「南山」が突出しているとは感じなかった。

公募の結果についても、視点を変えれば、「南山」という案が203件きているのに対し、「南山」以外の案は338件と、「南山」を上回っているとも捉えられる。マイノリティの意見を無視することはできないのではないか。

全員が納得して決めるには、アンケートは必要な工程である。

委：アンケートの選択肢を選ぶにあたり、何か基準が必要となる。

委：公募結果（グルーピングによる分析）の中で、青文字となっている案を選べば、地区市民検討会委員と市民の考えが合わさった選択肢となるのではないか。

委：公募結果（読み方・単語・漢字等による分析）を参考にすることで、統計的なデータを基に検討することができる。

委：公募結果（単純集計）を無視することはできない。ある程度数が多かった案を選び、その中から統計的な分析等に従い、選考を行うのが良いのではないか。

委：近隣に同様の地名がある案を除き、類似している案はまとめてはどうか。

委：それぞれの視点から絞り込んだ10案を、アンケートの選択肢とする。

次第2 町割り等の検討 (1) 新町名の範囲について

市：新町名予定範囲の北東側に、歴史的な神社があるため、矢野口として残して欲しいという意見があった。

これまでに詳細を調整したケースと同様に、対象の地区の方に、事務局が意向を確認し、再度、地区市民検討会で検討を行う対応で良いか。

委：その対応で良い。

※時間の都合上、今回の検討会は次第2（1）までとなりました。

残りの議題については、次回に検討いたします。